

事務事業 No./名称	■サービス部門 拠点-03 周辺整備事業 □支援部門						
主管課	再開発課	関連課	各部各課				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本計画(案)に基づき、大東橋周辺地区・鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区について、地区ごとの特色あるまちづくりを推進するため、地区計画の決定及び景観法に基づく特定地区の指定を目指す。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	42,885	2,967	25,108			
	(国・県)	11,600					
	(負担金等)			488			
	(一般財源)	31,285	2,967	24,620			
	人員配置数	1.9	2.0人	2.0人			
	人件費(千円)	15,021	18,368	17,624			
事務事業運営経費	協働のパートナー	砂押川プロムナード桜愛護会	大船駅南部地区まちづくり協議会 砂押川プロムナード桜愛護会	鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区まちづくり協議会 砂押川プロムナード桜愛護会・鎌倉女子大学			
	総事業費(千円)	57,906	21,335	42,732			
	市民1人当りの経費(円)	327	120	241			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
まちづくりルールの制定	△	目標値	2地区・5制度	3地区・6制度	3地区・6制度	3地区・6制度	3地区・6制度
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	2地区・3制度	2地区・3制度	2地区・3制度	2地区・3制度	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
周辺整備事業	40,554千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	大船駅東口のバリアフリー化に向けたエレベーター等整備の推進 砂押川沿い桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援			
周辺整備運営事業	2,331千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	鎌倉芸術館周辺まちづくり協議会及び大船駅南部地区まちづくり協議会の専門員と連携を図り、両地区のまちづくりに係る課題等に対する解決策の検討の実施			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	大船駅周辺地区で進められているまちづくりの進捗状況をふまえ、その進捗状況に沿った都市整備を進めるため、神奈川県・横浜市と連携を図る必要がある。		
課題解決のための取組	大船駅の拡充整備等、推進が図れる事業と図れない事業を明確化し、その進捗状況に合わせた対応を図った。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	各地区における特色あるまちづくりを推進するための地区計画の決定等について、権利者をはじめ関係機関等との合意形成が進まないため。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	②妥当性 ○	③有効性 ○		④公平性 ○	↓ B

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	タイムスコア	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
周辺整備事業	主な個別事業	1038 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務専門員報償費	60	36	○	○	○	○
		1038 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務用消耗品費	120	18	△	○	○	○
		1038 大船駅東口エレベーター等電気料	380	0	○	○	○	○
		1038 大船駅東口エレベーター電信料	45	0	○	○	○	○
		1038 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援樹木管理委託料	270	270	○	○	○	○
		1038 大船駅東西監視システム構築業務委託料	11,235	11,235	○	○	○	○
		1038 大船駅東口エレベーター等清掃業務委託料	221	0	○	○	○	○
		1038 駅ビルインフラ管切回し補償費(前年度からの繰越明許費)	0	28,995	○	○	○	○
周辺整備運営事業	主な個別事業	1116 事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	2,056	○	○	○	○
		1116 まちづくり協議会(3地区)専門員報償費	120	48	○	○	○	○
		1116 事務補助嘱託員費用弁償	108	36	○	○	○	○
		1116 まちづくり協議会(3地区)用等消耗品費	77	37	△	○	○	○
		1116 カラープリンター用消耗品費	58	81	○	○	○	○
		1116 土木積算プリンター用消耗品費	73	73	○	○	○	○
		1116 陽画等印刷製本費	18	0	△	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							